



# 離床センサーの保管方法について



Q

離床センサーを返却する際、どんな部材があったか分からなくなってしまい、次に使うときに部材がない！と病棟を探することがあります。なにか良い方法はないでしょうか？

A

ある病院での保管・貸出の工夫をご紹介します！



## I 病院様（茨城県） 赤外線コール・ポケット

プラスチックBOXに製品を収納しており、箱のまま貸し出します。蓋部分に、セット内容を写真で表示することにより、  
返却時に、製品が揃っているか確認がしやすくなります。  
以前は製品の一部が足りず、病棟まで探しに行くこともありましたが今は、とてもスムーズに回収できています。

また、使用するグループ（周波数）を病棟ごとに取り決めて、  
同じく蓋に示しています。中にあるマニュアルで設定し、  
他病棟との混信を防ぐことができます。

<蓋部分拡大>

### \* 2 混信対策

使用するグループが病棟ごとに分けられています！

1425.57

\* 近くの病棟で使用していると混信しますので、病棟のグループを決定しました。

病棟	グループ
1病棟	1グループ
2病棟	2グループ
5病棟	5グループ
6病棟	6グループ
7病棟	7グループ
11病棟	8グループ
12病棟	8グループ

\* 同じ病棟で複数使用する時は、患者さんごとにチャンネルを変えて設定して下さい。

【例】

2病棟	Aさん	Bさん	Cさん
2グループ	CH1	CH2	CH3

使用時・返却時に各部品は揃っていますか？



部品が揃ってから返却して下さい！

### \* 1 部品の未返却対策

セット内容が写真で確認できます。



+

マニュアル類